

2014年度 学校評価報告書（ 京都文教中学校・高等学校 ）

学校目標	「三宝帰依」の校訓のもと、すべてのもののいのちを大切に、「逞しさ・明るさ・優しさ・楽しさ」が実現できる教育を推進し、社会で活躍できる、知・徳・体の調和のとれた人間の育成をめざす。
------	---

重点目標	①教科指導力の向上 ②進路実績の向上 ③基本的生活習慣の確立
------	--------------------------------------

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価		
年 度 目 標	年 度 評 価	年 度 目 標	年 度 評 価	
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> 教師の指導力を向上させる。 生徒の学習意欲を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の授業アンケートやスキルアップ期間を設定し、他教員の授業見学などを行い、自らの授業スキルを高める取り組みを行う。 朝学習(MQ)の目標をコース別、学年別に設定し、基礎学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 前期の授業アンケート結果をもとに、一定の水準以下の教師について校長が面談を行い、後期の授業に改善を求め、一定の効果をえた。また他教師の授業を見学することで、自らの授業の刺激とした。 目標設定にコース主任が関わることにより、より適切な朝学習ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 年長教師の授業ノウハウを後進に伝えるため、次年度には年長教師による研究授業を実施する。 朝の煩雑さに紛れないように、次年度から朝学習の時間を5分延長するよう校時帯を変更する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 適切な受験校選びを早期より実施し、希望進路実現を目指す。 夏期冬期講習の効果的な運用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> なりたい自分になるために、どこへ進学するのが適当か、キャンパス見学や進路説明会を効果的に実施し、早い段階から目標を設定し、学習計画を立てる。 コース、学年の習熟状態を検証し、弱点補充やハイレベル講習、入試対策講座を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学より大学入試を意識した進路説明会を実施、模擬テスト業者や卒業生などによる講演など、様々な視点でのキャリアプログラムを実施した。 小論文テストや各種模擬テストの事前事後指導を徹底し、一定の成果を得た。 参加を積極的に呼びかけることにより、例年以上の参加人数を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> 3(6)ヶ年のキャリアプログラム計画について検証し、さらに効果を得るべく日程、内容等検討する。 講習担当者の割り当てを早期に行い、講習の事前準備に時間が充分とれるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 怠惰による欠席、遅刻を減らす。 校内清掃美化につとめ、挨拶の励行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部と担任が生徒一人ひとりの出欠状況を共有し、指導にあたる。 掃除監督の教師を適切に配置し、自ら手本となり清掃を行う。また教師から声掛けを行い、挨拶を「交わせる」よう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学事システムの出欠入力を早い時間帯で行い、生徒指導部で確認、情報を共有した結果、一定の成果を得た。 授業参観においても教室が汚い等の評価が無くなり、生徒の挨拶に好印象を持っていただけようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 減少したとはいえ、皆無では無いため、引き続き保護者の協力も得ながら指導していく。 コースにより授業終了時間が異なるため、掃除監督の配置を一考する。